



○課題解決の見通しに沿った資料の選択、情報の収集・選択



導入では、課題に対する解決の見通しを立てます。追究場面では、教師による提示資料だけではなく、**課題解決の見通しに沿って**、情報を収集します。例えば単元を通して配付された複数の資料から**必要な資料を選択**したり、タブレット端末を活用して**必要な情報を収集・選択**したりする工夫が大切です。

○課題解決に向けた追究場面での学習方法の選択



課題解決に向けた追究場面では、個人で追究を進めるだけでなく、追究の視点ごとにグループを作ったり、仲間のもとへ行って相談したりしながら追究するとよいです。自らの学習状況に応じて**生徒自身が学習方法を選択**しながら追究できるような工夫が広がっています。

○タブレット端末を活用した考えの共有

たった一つの県の意見で他の県を巻き込めない工事が遅くなる	一つの県の意見だけで全ての工事を止めてはいけないと思うし、他の県よりも通るばしょが少なくて他の県より文句を言うのはおかしいと思う。	多くの人々が利用することができるようになって便利になると思う 自然災害が起きた時の交通手段として多くの人を助けられると思う 条件を作って工事を進めていったらいいと思う	生物が生きれる土地がなくなり、減少するから 水を返してくれるならという理由で工事をしてるけど返せないというところから可哀想やなど思った
リニア中央新幹線は地震などの時にも使えるようにつくろうとしているので、認めて解決しようとしている間に災害が起こったらまた、1からとかになったら大変だから。	認められるべき 環境破壊が大きいから	リニア中央新幹線が通ることによって沢山の被害ができるから。 着工するにしても意見を取り入れるべきだと思う。	・非常に少ない守るべき生物が青アムズには存在から ・工事により発生した土を大井川の河川敷に置くこと ↓ もし災害などが起きてしまったら大井川やその下の河川に大きな被害が及ぶ可能性がある ・大井川の流量が毎秒2が減少する
現場一致の工事は難しい	ひとつの県の理由で工事をとめるのはよくないと思う	反対側が静岡県だけ移動が楽になる (災害や大雨でその他の新幹線が使用できなくなった時に助かる) 条件をつけることで、納得した状況で工事を進める必要があると思う 例えば 水の問題などを静岡県に任せるのではなく国も一緒に考える必要がある	実際に環境が悪くなったり、動物や生物が減少したりたくさんの被害が予想される。 ひとつの県が反対してもってなるかもしれないけど、少数意見の尊重が必要だから。

個々の考えをタブレット端末を活用して共有・確認したり、異なる立場ごとにグループを組んで議論したりすることで、**自らの考えを深めたり、広げたり、再構築したり**できます。追究に用いた資料別や課題に対する立場別にカードの背景色を変えて視覚的に比較しやすくし、目的意識をもった交流につなげます。